

早いもので、2008年もあとわずかとなりました。みなさんにとって今年はどうな年だったのでしょうか。ここでは、山陽小野田市の2008年主な出来事を振り返ってみました。

【問い合わせ先】企画課 (☎ 82-1130)

※ニュースは発生順に並べています。



厚狭・埴生バイパス開通 (1月)

●国道2号 厚狭・埴生バイパス開通 (1月)

1月26日開通。山口、下関両方面への利便性が図られました。



おのだサンパークリニューアルオープン (5月)

●中央図書館長を民間人から起用 (4月)

"新しいまちづくり"の中での"新しい図書館像"を求めて中央図書館長を民間公募しました。4月1日付けで就任。

●おのだサンパークリニューアルオープン (5月)

おのだサンパークが25周年を記念してリニューアルオープン。市内の商業施設の集積および活性化に一役かっています。

●ファミリーサポートセンター設置 (6月)

育児をしている人の援助を目的として、援助を"受けたい"会員と援助を"行いたい"会員による相互援助組織を山陽総合事務所内に設置しました。



ファミリーサポートセンター設置 (6月)

●南極教室 (6月)

市内各小学校と南極昭和基地をテレビ会議システムを使って結んだ中継授業が行われました。山口東京理科大学の浅野^{ひとし}助教が越冬隊員として派遣されていることが縁で実現した"特別授業"でした。

●ふるさと納税(サポート寄附)開始 (7月)

ふるさと等を応援することを目的に自治体に寄附を行う、通称「ふるさと納税」という制度が導入され、本市においても「サポート寄附」という名称で受入れをはじめました。



南極教室 (6月)

●生活改善・学力向上プロジェクトが日本教育再興連盟賞受賞 (8月)

本市の教育改革「生活改善・学力向上プロジェクト」～児童・生徒の学力向上に成果を上げたことが評価され、日本教育再興連盟から表彰されました。

●地球温暖化防止対策、ごみ減量化対策始動 (8月)

地球温暖化防止対策地域協議会を立ち上げ、「マイバッグ運動」や「緑のカーテン設置事業」を推奨。学校やサッカー場などに「緑のカーテン」を整備しました。自治会連合会、女性団体連絡協議会といった市民団体によるシンポジウムも開催され、地球に優しい環境づくりの取組みがスタートしました。



地球温暖化防止対策始動 (8月)
(緑のカーテン)

●市立学校施設耐震化開始 (9月)

学校施設の耐震化に取り組むため、耐震診断の経費を補正予算で組み、耐震化事業を開始しました。

●ナルトビエイ食材化 (10月)

民間事業者の手により「みりん干」や、「ふりかけ」が商品化され、第40回山口県水産加工展においても表彰されました。現在、「ナルトビエイ魚醤」の製作にも取り組んでいます。